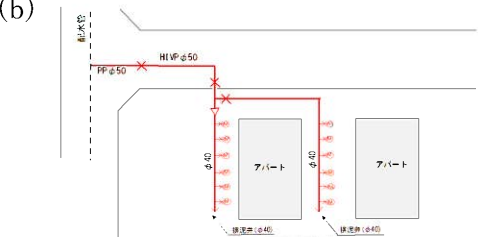
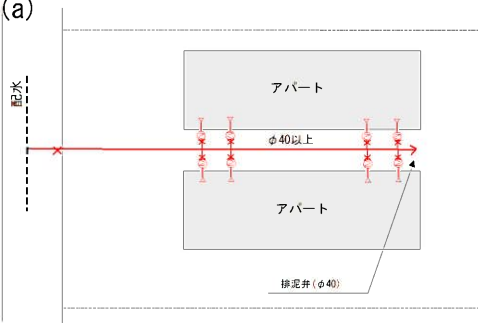
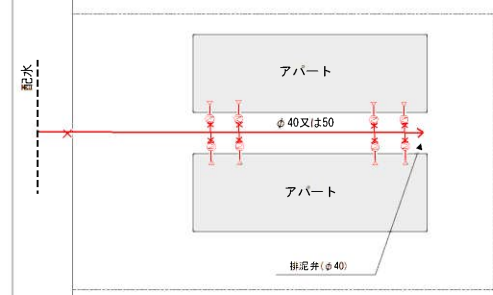
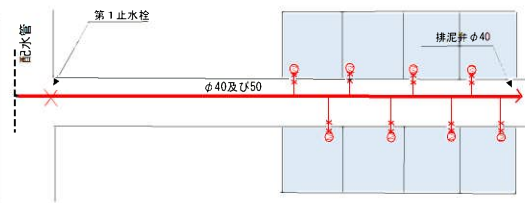
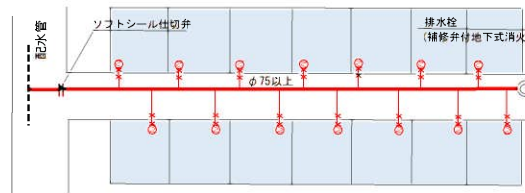
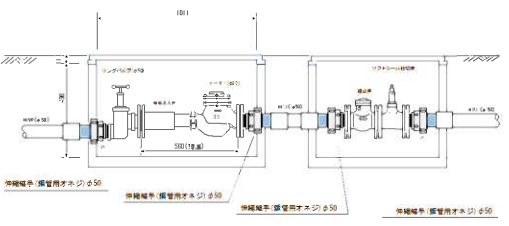
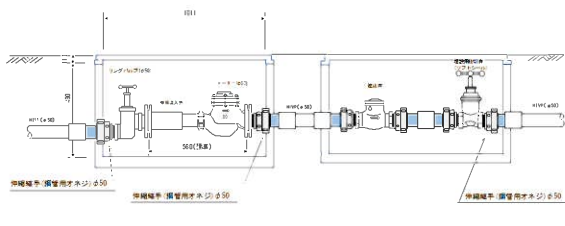
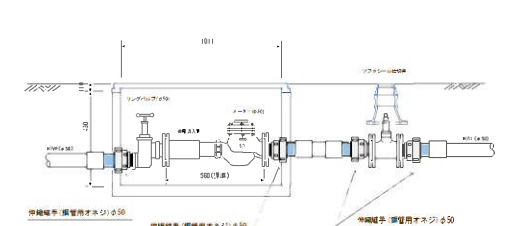
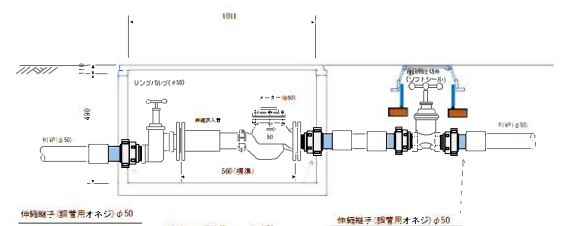
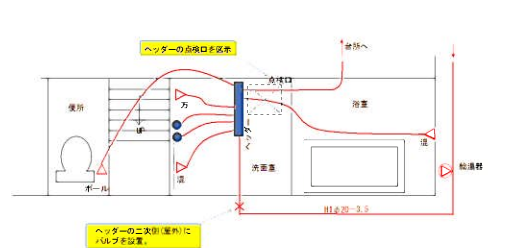
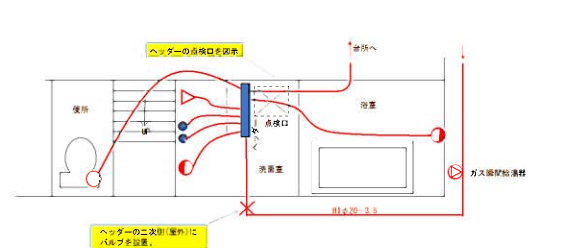
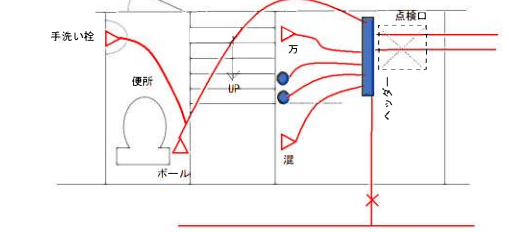
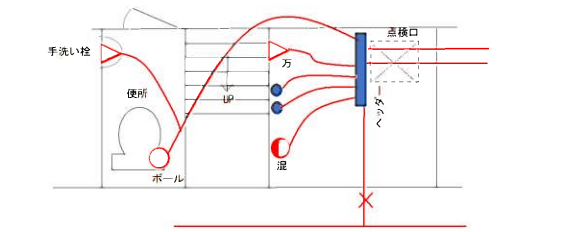
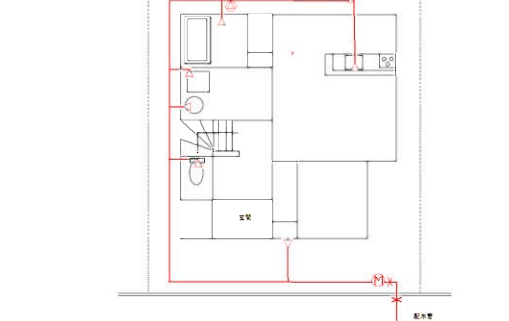
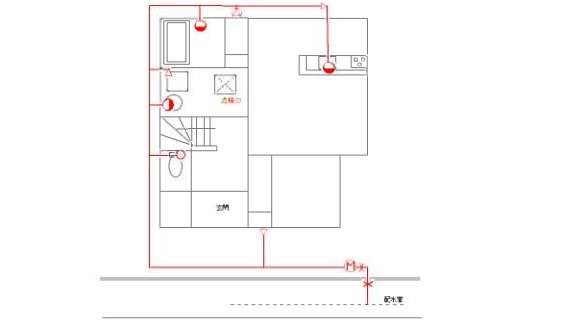
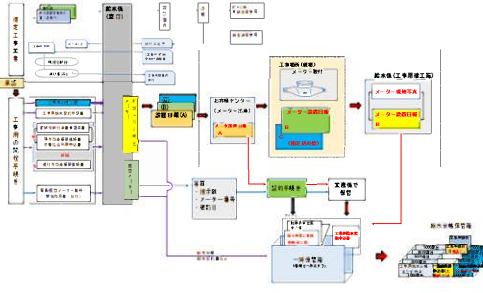
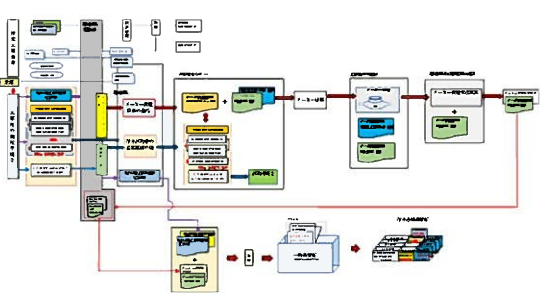
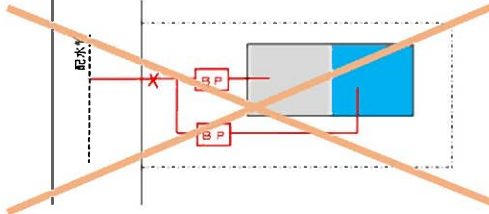
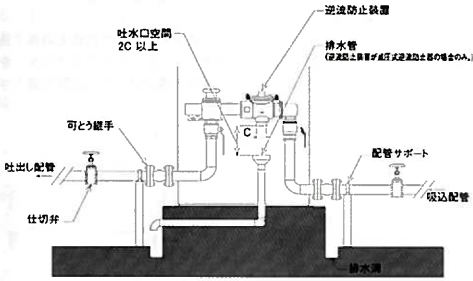
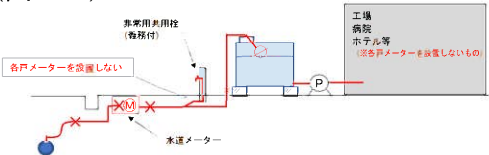
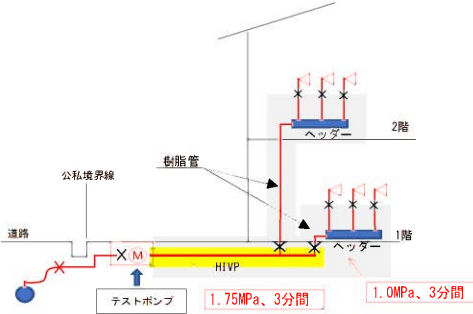
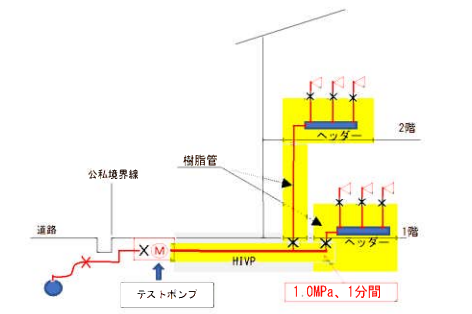
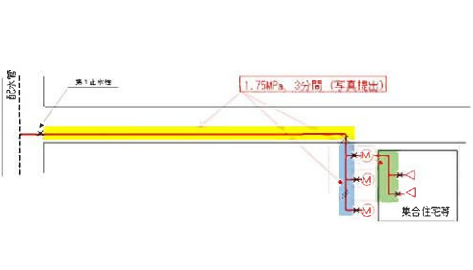
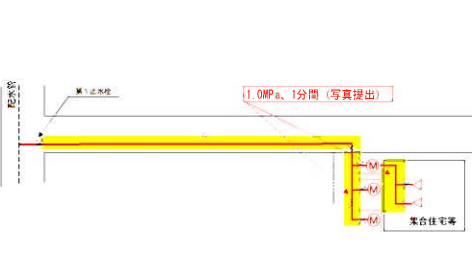


掲載箇所	誤	正
P. 119、図 7-24	(b) 	(b) 図を削除する。
P. 119、図 7-24	(a) 	(a)の図を(b)に移し、下図に修正する。 
P. 119、図 7-24	(a)	(a) に下図を挿入する。 
P. 119、上から 15 行目の後に追加		2. 排水栓の設置 <u>(1) 口径 75 mm以上の給水主管の管末には、排水栓（地下式消火栓）を設置する。</u> <u>(2) 排水栓は、補修弁付とする。(図 2-9 参照)</u>
P. 119、下段に新たに図 7-24 (C) を挿入		 図 7-24 (c) 排水栓の設置
P. 122、上から 5 行目	二次側にもスリースバルブを設置する。	二次側に埋設用仕切弁内ねじ型(ソフトシール弁)を設ける。
P. 122、上から 7 行目	止弁とソフトシール弁を設ける。ただし……	止弁と埋設用仕切弁内ねじ型(ソフトシール弁)を設ける。ただし……
P. 122、図 7-26 (1) 3 階直結直圧式	上記の P. 70 図 4-2 と同じ (図中のメーター寸法 245)	上記の P. 70 図 4-2 と同じ (図中のメーター寸法 190)

掲載箇所	誤	正
P. 123、図 7-26(2) 口径 50 mm 直圧式		
P. 123、図 7-26(2) 口径 50 mm 貯水槽式		
P. 130、図 7-27		
P. 132、図 7-30		
P. 132、図 7-31		
P. 179、上から 2 行目	(3)・・・は、事前協議時に無提出とする。	
P. 186、上から 9 行目	(3)・・・は、事前協議時に無提出とする。 ⑤明石市基準のメーター寸法となっていること。(図-7.1.1)	(3)・・・は、事前協議時に提出とする。 ⑤明石市基準のメーター寸法となっていること。(図 7-26)

掲載箇所	誤	正
P. 188、図 9-2 ※ 図の差し替え		
P. 82、22 行目に(5)を挿入 P. 82、図 5-12 の差し替え	 <p>図 5-12 1 建物 1 増圧給水設備でない例</p>	<p>(5) 直結加压形ポンプユニットの設置例は、<u>図 5-12</u> に示す。設置に当たっては、製造者の設置要領に基づき施工する。</p>  <p>図 5-12 直結加压形ポンプユニット設置例</p>
P. 179、下から 1 行目		<p>⑥ 水理計算書（寮、幼稚園、福祉施設等に対する 1 水道メーター口径の決定）</p> <p>⑦ その他（必要に応じて指示する）</p>
P. 96、上から 6 行目	図 6-3 メーターの増径	図 6-2(A) メーターの増径
P. 96、上から 7 行目	<p>4. 非常用給水栓の設置</p> <p>(1) 各戸メーターの場合</p> <p>貯水槽式で各戸メーターを設置する場合は、親メーターから貯水槽までの間に、非常用給水栓の水道メーターを設置する。(図 6-1 参照)</p> <p>(2) 1 事業体の場合</p> <p>貯水槽式で病院、ホテル、工場等に給水する 1 事業体の場合、非常用給水栓は水道メーターから貯水槽までの間で設置するが、非常用給水栓の水道メーターは設置しない。(図 6-3)</p>  <p>図 6-3 1 事業体の非常用給水栓の設置</p>	

掲載箇所	誤	正
P. 17、表 2-3		
2 行目	表-3. 3. 2 指定メーカー一覧表	削除
水道用ダクタイトル鉄異形管	幡豆工業(株)	(株)ハズ
水道用ダクタイトル鉄押輪	幡豆工業(株)	(株)ハズ
水道用ソフトシール仕切弁	幡豆工業(株)	(株)ハズ
サドル付分水栓		前澤給装工業(株)
消火栓	幡豆工業(株)	(株)ハズ
P. 194、上から 5 行目に挿入		3. 戸建て住宅は、耐圧検査を現地にて実施する。なお、住宅の建物内目視検査は図面のみとすることができる。
P. 195、図 9-7		
P. 195、図 9-8		
P. 195、上から 6 行目	② 耐圧検査の範囲は、水道メーターから二次側（給水用具は手前でバルブ止め）の配管。	② 耐圧検査の範囲は、水道メーターから二次側（給水用具は手前でバルブ止め）の配管とする。
P. 195、上から 7 行目	③ 耐圧は、 <u>ビニル管等は 1.75MPa で 3 分間保持。樹脂管は、1.0MPa で 3 分間保持。</u>	③ 耐圧は、 <u>1.0MPa で 1 分間保持する。</u>